

防災教育チャレンジプラン

防災教育に取り組む団体、個人を表彰する「防災教育チャレンジプラン」で、二〇〇八年度の

大賞に、体験型教材「防災楽習迷路」を考案した神戸市垂水区の特定非営利活動法人「ひまわりの夢企画」(荒井勳代表)が選ばれた。

(岸本達也)

# 大賞に「楽習迷路」

内閣府や災害ボランティア行委員会(委員長 林春男・団体、大学などが参加する実 京大防災研究所巨大災害研究センター教授)が、全国の十



荒井勳さん

四事業から選んだ。防災楽習迷路は木枠を組み合わせた約十畳四方の広さ。地震で家の中の家具や食器な



カードを探してゴールを目指す防災楽習迷路 神戸市中央区脇浜海岸通、人と防災未来センター(昨年8月)

## 体験教材 神戸のNPO法人考案

どが散乱して迷路のようになった際、必要なものを探すという想定。「ガスの元栓」「石油ストーブ」などの注意点、「飲料水」「懐中電灯」などの持ち出し品を描いたカードを探しながらゴールを目指す。

選考では、難易度が調整できる点やカードの収集で防災知識を学べる点が評価された。

迷路は組み立て式で、要望を受けて「出前」してきた。阪神・淡路大震災以降、全国の災害被災地でボランティア活動を続ける荒井代表は「大賞はまさか、との思い。震災以来、地道に取り組んできたことが評価され、うれしい」と話している。